

# 本社阪神事務所

## 1. 事業概要

<b>住所</b>	〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号
<b>従業員数</b>	クボタ432名、関連会社588名 計1020名 (2015年4月1日現在)
<b>敷地面積</b>	46,478.9m <sup>2</sup>
<b>事務所建物</b>	
<b>事業内容と主要製品</b>	<p><b>機械部門</b> 農業機械、農業関連商品、建設機械</p> <p><b>水・環境部門</b> 上下水処理装置、排水処理装置、水処理用膜ユニット、ポンプ、自動販売機</p> <p><b>その他部門</b> 教育・研修</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div data-bbox="367 1008 710 1265"><p>トラクタ</p></div><div data-bbox="853 929 1109 1265"><p>液中膜ユニット</p></div></div>

### 事業所変遷(沿革)

昭和59年 (1984年) 現在地に技術開発研究所新社屋竣工  
平成13年 (2001年) 事業所名称を技術開発研究所から本社阪神事務所に改称  
平成14年 (2002年) 本社阪神事務所新社屋竣工

## 2.環境方針

### ISO環境方針

#### クボタグループ環境基本行動指針

##### 1. すべての企業活動における環境保全への取り組み

- (1) 私たちは、製品開発・生産・販売・物流・サービスなど、企業活動のすべての段階で環境保全を推進します。
- (2) 私たちは、取引先に対しても、環境保全活動への理解と協力を求めます。

##### 2. 地球環境保全への取り組み

- (1) 私たちは、地球温暖化の防止、循環型社会の形成、化学物質の管理を推進することにより、地球環境保全に貢献します。
- (2) 私たちは、環境問題の解決に資する技術と製品を開発し、社会に提供することにより、地球環境保全に貢献します。
- (3) 私たちは、自然環境や生物多様性に配慮した企業活動に努めます。

##### 3. 地域社会との共生を図る環境保全への取り組み

- (1) 私たちは、環境リスクの低減に努め、環境汚染の未然防止など地域環境の保全に配慮した企業活動を推進します。
- (2) 私たちは、地域の環境美化・環境啓発活動に積極的に参画します。

##### 4. 自主的、計画的な環境保全への取り組み

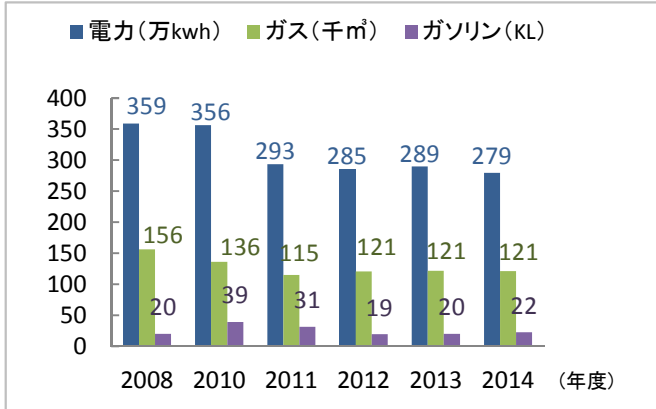
- (1) 私たちは、環境マネジメントシステムを導入し、自主的・具体的な目標と行動計画を定めて、日常の業務を推進します。
- (2) 私たちは、環境に関する啓発・教育活動を推進し、環境意識の向上に努めます。
- (3) 私たちは、ステークホルダーに対して、積極的に環境情報を発信します。
- (4) 私たちは、環境コミュニケーションを通じてステークホルダーの意見を幅広く収集し、環境保全活動に反映します。

#### 本社環境方針

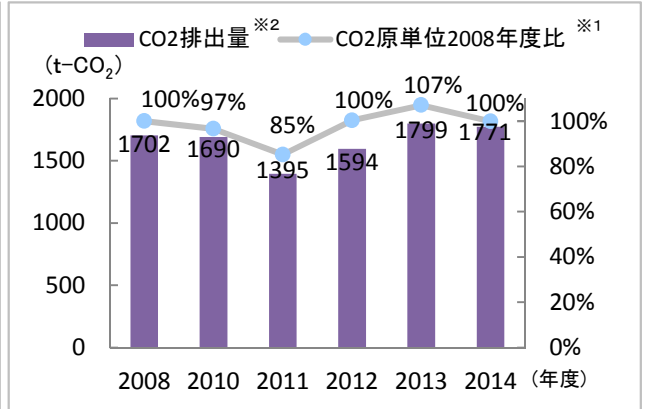
1. 省エネルギーを推進し、CO<sub>2</sub>排出量の削減、水資源の節約、廃棄物の再利用・排出抑制・再資源化に取り組み、ゼロ・エミッションを目指します。
2. 環境関連法規制及び当事務所が同意するその他の要求事項を遵守し、維持します。
3. 化学物質等の適正な管理を行います。
4. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域の環境保全に取り組みます。

## 3.環境パフォーマンス

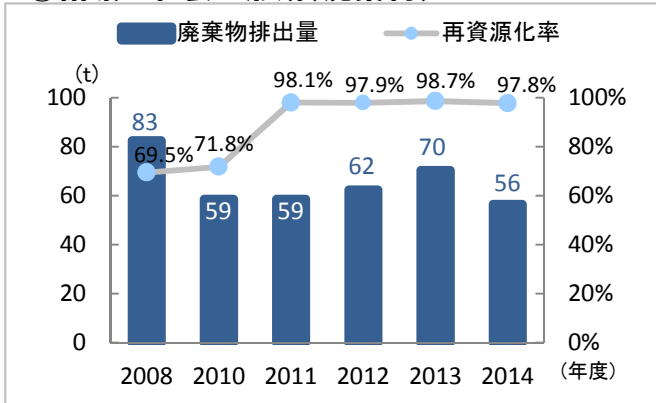
### ①地球温暖化の防止(エネルギー使用量)



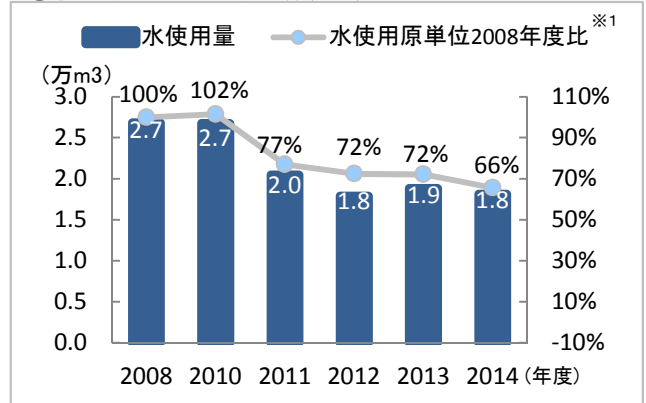
### ②地球温暖化の防止(CO2)



### ③循環型社会の形成(廃棄物)



### ④循環型社会の形成(水)



※1 原単位=排出量÷従業員数

原単位2008年度比:2008年度の従業員数ベースの原単位を100とした場合の割合

※2 CO2排出量はエネルギー起源のCO2排出量です。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

## 4.環境トピックス

「省エネ・環境貢献」を考えた設備を積極的に採用しています。

### 〔太陽光発電システム〕

●基本仕様

設置容量:60kW

太陽電池:薄膜シリコンハイブリッド

・「発電した電力は所内にて消費され、  
節電に役立っています。」



### 〔厨房排水処理中水設備〕

●基本仕様

計画汚水量:30m<sup>3</sup>/日

処理方式:膜分離活性汚泥方式

・「処理水は、トイレの洗浄水、所内植栽へ  
の散水に利用し、節水に努めています。」



### 〔2号館排水処理設備〕

●基本仕様

計画汚水量:10m<sup>3</sup>/日

処理方式:膜分離活性汚泥方式

・「実験排水を、膜分離装置にて高度処理  
し、下水に放流しております。環境負荷  
低減に努めています。」



## 節電対策の実施

- ①執務室の照明一部取り外し
- ②エレベーターホール・廊下の照明一部取り外し
- ③食堂の照明を天候に合わせて点灯(晴天時:1/3点灯、曇・雨天時:2/3点灯)
- ④外灯の一部通年消灯
- ⑤エレベーターホール、廊下の空調停止



執務室



食堂

## 5.環境コミュニケーション

### 異常時・緊急時訓練

名 称 緊急事態対応訓練

日 付 2014年11月20日

参加人数 11名



### 地域の皆様との交流・美化活動

名 称 クボタ eプロジェクト活動

日 付 2014年8月1日

参加人数 24名

地域清掃活動の実施(JR立花駅周辺)



## 6. サイトデータ

### INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	873
水使用量	万m <sup>3</sup>	1.8

### OUTPUT

CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	1,771
---------------------	-------------------	-------

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				特定施設なし	測定値
水	下水道	pH	—	—	6.45
		BOD	mg/l	—	1未満
		COD	mg/l	—	—
		SS	mg/l	—	2未満

廃棄物排出量	t	56
再資源化率	%	97.8